THE KANSAI UNIVERSITY NEWS

第42号
広報委員会発行

関西大学通信

大阪府吹田市山手町3丁目
関西大学広報委員会

国庫助成に期待するもの

国庫助成は私立大学の財政上、もはや欠くことのできない重要なものである。終戦直後に行われた教育制度の改革によって、私立大学は法的にも公の性質をもつ教育研究の場としての位置づけが確立された。従って、国・公立大学とともに、高等教育費の一環として私立大学の教育研究経費を、国が負担するのは当然のことである。しかるに、国庫助成の推移を見るとき、教育界の年々の要望と、その促進に不断の努力が続けられたにもかかわらず、遅々として現実に則した進展がない。インフレ基調の経済情勢がもたらした人件費や諸物価の高騰などによって、財政の逼迫から教育研究の維持さえも危ぶまれ、ひいては私学の危機が叫ばれている。

教育研究内容の維持・充実のため

国の負担は当然

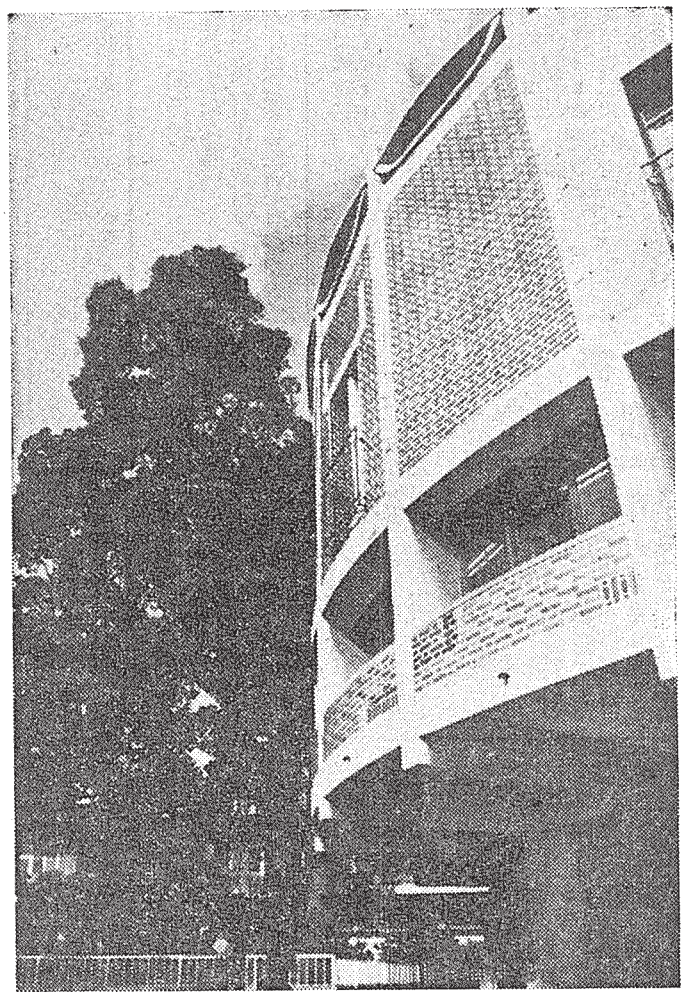
増額に努力

全国学生総数の約七六％に及ぶ学生を擁する私立大学は高等教育に重要な役割りを占め、これが内容の充実のため、国家が教育費負担としての、大幅な国庫助成を行わなければ、ただ私立大学の財政的危機にのみとどまらず、わが国の高等教育における教育研究の危機につながることとなろう。全国民がこの国庫助成促進に理解をもち、かつこれに努力を傾けられることが期待される。

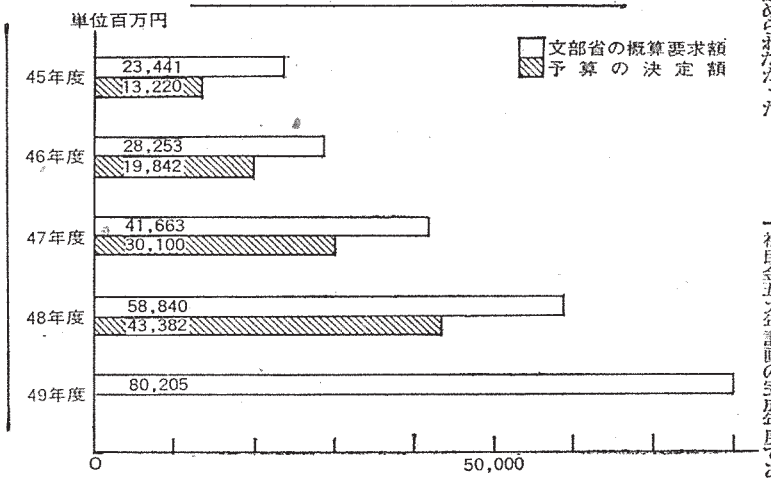
経常費補助金　当初の計画目標に達せず

現在の国家予算による主要な補助金制度は、私立大学等経常費補助金である。この補助金は、昭和四十三年度から同四十四年度にあったっては経常費の二分の一に達することを目標とされていた。この推移は別表のごとく年々に増額があったが、計画された目標には到底達し得られない状況である。毎年の文部省概算要求額については、私立大学側にとっては満足すべき額ではなく、かつ、国会での予算決定額は、さらにこれを著しく下回っている。概算要求額に対する予算決定額の割合は、昭和四十五年度が五六・四％、同四十六年度が七〇・二％、同四十七年度が七二・二％、同四十八年度が七三・七％となっている。

その内容は、専任教員給与費、専任職員給与費、教員経費及び学生経費であり、昭和四十八年度においても、概算要求のうち、教員研究旅費及び専任教員待遇改善費の項目については、予算決定額には認められなかった。



私立大学等経常費補助金の政府予算推移



来年度（完成年度）の見込み

目標の2分の1にはほど遠い

次に、各大学に対する補助金交付の配分については、基本的に教員数及び職員数を基礎に、文部省での積算単価によって行われ、各大学の経常費の実額には及ばないものである。例えば、昭和四十八年度の専任教員給与について見れば文部省では、一人の平均年額を二百万円にも達しない額を積算基準としており、この二分の一の補助となったとしても実際の給与額の半額には遥かに隔りがある。

さて、昭和四十九年度は経常費補助金五カ年計画の完成年度である。私立大学側としては、この補助金の交付配分を行う私学振興財団を通じて、一千五百八十六億円の獲得を目ざして努力を重ね、経常費の実質二分の一に近い額を期待していたが、文部省の概算要求額は八百二億円にとどまった。即ち、専任教員給与費の補助率は目標の二分の一となっているが、積算基礎額が一四・三％の給与アップ率が増したのみで、実態給与額とは大いに差がある。専任職員給与費補助率は、十分の二にとどまり、目標の二分の一には、いまだ遠い。教員経費の補助率は医歯系の三分の二のほかは二分の一となっている。学生経費及び教員研究旅費の補助率は二分の一になり目標に達した。しかし、各項目の積算単価は改善されず、また、専任教員待遇改善費及び非常勤教員給与費はすでに概算要求額から削除されている。もし、この概算要求額全額が国会で予算として決定したとしても、私立大学の経常費の実質の概ね四分の一程度にしかなり得ないであろう。毎年の予算決定に見るごとき大幅な削減はあり得るとしても、概算要求全額の予算決定実現に努力することは、いうまでもない。

昭和50年以降に望むもの

諸条件の水準を高め

高等教育の向上発展へ

以上の様な状況において、経常費補助金が来年度にその目標とする実質経常費の二分の一補助の実現が見込まれないにしても、昭和五十年度以降におけるこれが抜本的構想は、今や関係私学団体、私学振興財団などで、鋭意検討が続けられている。経常費の実質二分の一補助達成はいうまでもなく、現行の教育研究内容の維持のみを対象とするものでなく、私立大学の諸条件の水準を高め、内容の充実拡張に要する諸経費及び施設設備投資を含めての合理的な基本的構想の早期樹立と、これが推進こそ、わが国の高等教育の向上発展に必要であり、文化の進展に寄与することの重大さをここにあらためて認識するものである。「全関西私立大学国庫補助促進同盟」の議長校、「国庫助成に関する私立大学教授会関西連絡協議会」の常任幹事校としての本学の使命は重く、一般社会からの良識ある理解と支援を期待するものである。

学費改訂行わず

去る十月二十九日開催の理事会において次のように決定された。

大学院・学部第一部・第二部の学生のみなさんへ

一、昭和四十九年度大学院・学部第一部・第二部新入生に対する学費改訂は行なわない。

二、学部第二部の千里山移転については現時点では考えていない。

昭和四十八年十月二十九日

学校法人　関西大学

49年度　入試要項決まる

昭和四十九年度の入学試験要項が決まり、十一月一日より発売された。

学部名		募集人員
第一部	法学部	約400名
	文学部	約300
	経済学部	約400
	商学部	約300
	社会学部	約400
	工学部	約760
第二部	法学部	約300名
	文学部	約150
	経済学部	約300
	商学部	約150
	社会学部	約100

募集人員、その他はつぎの通りであり、大きな変更はない。

○出願期間　四十九年一月七日～十九日
○試験日　本学試験　二月一日（金）社会学部　二日（土）法学部　三日（日）商学部　四日（月）工学部　五日（火）文学部　六日（水）経済学部
地方試験　二月三日（日）全学部
地方試験の行われる場所は昨年同様、金沢・名古屋・高松・広島・福岡・鹿児島・札幌・東京の八ヵ所である。
○合格者発表　二月十五日（金）社会学部・法学部・商学部　二月十六日（土）工学部・文学部・経済学部
両日とも第一部は千里山学舎、第二部は天六学舎において午後一時に行われる。

おもな内容

【1面】▼国庫助成に期待するもの▼昭和四十九年度入試要項決まる▼学費改訂行わず▼千里眼
【2面】▼キャンパス情報＝人事異動ほか
【3面】▼国家試験と合格体験記▼学生部短信
【4面】▼中国訪問の記▼随想▼編集後記

千里眼

大阪いでて右左菜種なちさる畑もなし
神崎川のながれのみ浅黄にゆくそ美しき

これは「気笛一声」で始まる鉄道唱歌の一節である。この唱歌ができたのは明治三十三年だから少し古すぎる。しかし、神崎川にもこのような時代があったという貴重な資料だ。

夏の夕方、電車の窓を開けておくと、神崎川の鉄橋の付近では小さな虫がいっぱい車の中に入ってきた。これは十年程前のことである。川の悪臭は今よりひどかったが、まだ空地があり虫もいた。ここ十年間の変化は激しさを思う。

大阪周辺ばかりでなく、今、日本列島全体の自然が崩れようとしている。「列島改造論」がそれに輪をかけているようだ。政府は最近、新幹線網の計画を発表した。横幅の狭い日本列島に、なぜあのように新幹線を作らねばならぬのだろう。われ われの税金を使って。新幹線は北海道から九州まで、一すじで十分ではないだろうか。後は現在不十分な横につなぐ路線を整備すればよいのではないだろうか。

もう一つ気になるのが本四架橋である。全く橋のないのも確かに不便だが、橋を同時に三本も架ける必要はどこにもない。四国の自然の破壊が進むことをおそれる。自動車道路ができると、それによる破壊の他に、別荘だの、ゴルフ場だの、がたちまち出現し、破壊は二倍にも三倍にもなる。

破壊された自然は、永久にもどってはこない。もういいかげんに「開発」を中止したらどうだろう。もう、うんざりだ。

自然を愛し、自然と一体化することを最高の美として、歴を作り、建物を造った昔の日本人の心はどこへ行ってしまったのだろう。

（M・O）

キャンパス情報

人事異動

▼大学院▲
安田信一大学院留学の新任とともに、十一月一日付で大学院の人事異動が行われた。
工学研究科長　教授　西原清廉
工学研究科長　教授　井本　稔

▼新しい就職主事▲
任期満了により、十一月一日付をもって、新就職主事がつぎのとおり発令された。
岡　登志夫（法・教授）
芝田　稔（文・教授）（再任）
佐藤　博（経・教授）
高畑修弥（商・教授）（再任）
行田俊彦（社・教授）（再任）
森田孟信（工・教授）

税状法学会を開催

ロンドン大学の教授ら迎え

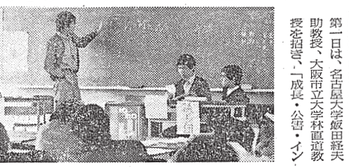
十月十五日関大会館で租税法学会が開かれ、ロンドン大学のウィートクロフト教授の講演をはじめ租税争訟の諸問題に関するシンポジウムが行なわれた。本学関係では、村井助教授による「多国籍企業の課税問題」に関する報告があった。学会報告の後、懇親会がもたれ、田中二郎前最高裁判事をはじめ多数の参加者があった。

経済学会・商学会でも

経済学会、商学会では、十月十日午後一時から第二学舎において、ロンドン大学ホーム教授を招き、講演会を開催した。

教授の講演は「現代マルクス主義の潮流」と題して、現代の欧米においてマルクス主義的インテリゲンチャが増大している反面、マルクス主義の解釈は多極化している事実を指摘し、これを左翼主義的、ヘーゲル主義的、搾取主義的解釈などの三潮流に分け、それぞれの解釈がこの程度まで本来のマルクスの思想と合致するかを、その唯物弁証法的根拠、唯物史観理論を吟味することによって明らかにしようとするものであった。

なお、講演は経済学部豊田良一教授。



日本学生経済セミナー

15校、七百人が参加

西関西ブロック大会

日本学生経済学セミナー第十回関西ブロック大会は、本学経済セミナー協議会主催のもとに、十月一、二、三日の三日間、経済学舎において開催された。＝写真＝

第一日は、各国関西大学飯田経夫助教授、大阪市立大学林直道教授を招き、「成長・公害・インフレーション」をテーマに、記念講演が開かれ、

第二日は、経済原論、経営理論など三部門にわかれ、部門別研究会が行われた。

第三日は、「物価問題政策」をテーマに、一般討論会が開催された。

学園紛争の種化したゼミ協もようやく編成されつつあるが、音大学とも資金的に厳しい状況にあり、大会の開催を年末に延期しなければならない中で、今大会は、参加学生二百名、八二ゼミナール参加学生数延七〇〇名におよぶ盛況を収めた。しかし他方では大会報告を編集した冊子の刊行をめぐる中止せざるをえなくなっている。

工学部

関西砥粒加工研究会

第二八回関西砥粒加工研究会が昭和四十八年十月二十六日午後二時から千葉技術研究所会議室で開催された。演題と講師は次の通り。

（一）研削加工と及ぼす盤上の現象の影響
大阪府立大学　喜田良宏氏
（二）研削砥石の機械的性質
関西大学　樋口誠宏氏

また土木関係では十月二十日午後一時から工学部第四学舎で次の特別講演が行われる予定である。

「最近の土木技術論」
京大名誉教授　石原藤次郎氏

十一月五日（月）　文学部主催
法・経・商・社学部後援
「変ったドイツと変らぬドイツ
―再訪者の文学的印象―」
熊井哲行教授

関西大学漫画同好会

二部で講演会開催

二部では十一月上旬二つの学術講演会が開催された。

十一月一日（木）社会学部主催
法・文・経・商学部後援
「日本人とイギリス人―イギリス留学から帰って―」
鉄尾周一学部教授

十一月五日（月）　文学部主催
法・経・商・社学部後援
「最近の日本学生」
日本広告学会大会

本学で開催

第二十六回広告学会大会（大会運営委員長・本学中島昌三教授）が来る十一月三十日、十二月一日の両日にわたり本学会場で行われる。

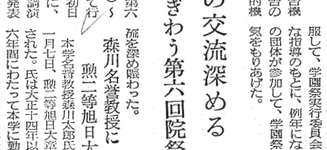
シンポジウムの論題は「広告機能を総点検する」であり、広告の経済的機能、社会的機能、文化的機能について論じられる。この他自由論題の報告、討論が行われる。

研究科間の交流深める

にぎわう第六回院祭

大学院六院協議会講演会催の第六回院祭が、十月十一日（日）～十四日（水）、本学内において開かれた。院祭プログラムは、初日のソフトボール大会を皮切りに、学内・外の講師による学術講演会、各研究科発表による研究発表会、映画会など盛沢山の内容であった。

なお、今回の院祭は、孫を深める意味合いから、研究科相互の交流を深める意味合いもあった。



日本学生経済セミナー

15校、七百人が参加

西関西ブロック大会

日本学生経済学セミナー第十回関西ブロック大会は、本学経済ゼミナール協議会主催のもとに、十月一、二、三日の三日間、経済学舎において開催された。＝写真＝

第一日は、各国関西大学飯田経夫助教授、大阪市立大学林直道教授を招き、「成長・公害・インフレーション」をテーマに、記念講演が開かれ、

第二日は、経済原論、経営理論など三部門にわかれ、部門別研究会が行われた。

第三日は、「物価問題政策」をテーマに、一般討論会が開催された。

学園紛争の種化したゼミ協もようやく編成されつつあるが、音大学とも資金的に厳しい状況にあり、大会の開催を年末に延期しなければならない中で、今大会は、参加学生二百名、八二ゼミナール参加学生数延七〇〇名におよぶ盛況を収めた。しかし他方では大会報告を編集した冊子の刊行をめぐる中止せざるをえなくなっている。

工学部

関西砥粒加工研究会

第二八回関西砥粒加工研究会が昭和四十八年十月二十六日午後二時から千葉技術研究所会議室で開催された。演題と講師は次の通り。

（一）研削加工と及ぼす盤上の現象の影響
大阪府立大学　喜田良宏氏
（二）研削砥石の機械的性質
関西大学　樋口誠宏氏

また土木関係では十月二十日午後一時から工学部第四学舎で次の特別講演が行われる予定である。

「最近の土木技術論」
京大名誉教授　石原藤次郎氏

十一月五日（月）　文学部主催
法・経・商・社学部後援
「日本人とイギリス人―イギリス留学から帰って―」
鉄尾周一学部教授

本学で開催

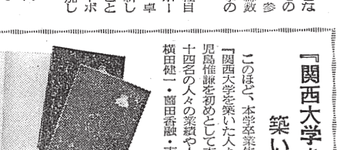
日本広告学会大会

第二十六回広告学会大会（大会運営委員長・本学中島昌三教授）が来る十一月三十日、十二月一日の両日にわたり本学会場で行われる。

シンポジウムの論題は「広告機能を総点検する」であり、広告の経済的機能、社会的機能、文化的機能について論じられる。この他自由論題の報告、討論が行われる。

『関西大学を築いた人々』を出版

このほど、本学学生生活の歴史である関西大学校友会誌、『関西大学を築いた人々』と題する本が出版された。これは児島惟謙を初めとして本学の創立・発展の礎に尽瘁した五十名の人々の業績や人間像を記したもので、執筆は文学部横田健一・薗田香融・吉永慶の各教授のほか三氏。昭和四十一年九月から本年四月まで校友機関紙「関大」に毎月掲載されたものを、同書編集委員会が一冊にまとめた。内容は初期時・守旧期・発展期・飛躍期と現代の四篇にわかれている。A5判、口絵写真八頁、本文二八四頁、装丁〇頁、頒価一、〇〇〇円、取扱先、関西大学・生活協同組合・書籍部



『花やかに学園祭』

テーマ　自主・自立・創造

九日の前夜祭を皮切りに、十日から講演、映画、英語劇、座談会、パネル展示、人形劇、ダンスパーティ、バドミントン大会、柔人柔法・剣道大会、落語などのイベントを中心に、音楽鑑賞、歌こえ喫茶、キャンプル喫茶、おでん、ぜんざい、うどん屋、甘酒茶、天然酒場、スナックなど多彩な模擬店が色どりをそえて、迫日最高のうたげを忘れて、祭り楽しむ学生、校友、父兄たちにきわった。

最終日の十三日は久井理事長、樋本校友会会長ら来賓のあいさつのち、「個例の反省国弘教授の四日間のフィナーレを飾った。

教職員も参加し年々盛況に

スポーツ週間

本年度のスポーツ週間行事は、十月十九日の開会式で定切りに、一カ月間グランド、あるいは体育館で熱戦がくりひろげられた。＝写真＝

この行事は体育会が世話役となって全学を挙げ参加しているもので、今年で第四回を迎え、参加者は年々増加し本年は総数約二〇〇〇名、学生の年間行事の一つとして定着した感がある。

スポーツ週間
行事種目及び参加状況

ソフトボール＝三五チーム、参加者四〇〇人　バレーボール＝六四チーム、参加者一〇〇〇人▽バスケットボール＝六四チーム、参加者八〇〇人▽剣道＝参加者六四人▽相撲＝参加者四八人▽柔法＝参加者六四人

就職模擬試験を実施

故高尾教授の追悼会開催

昭和四十九年度の就職模擬試験が、左の要領で実施される。平素の学力を総合するためにも、この機会に、多数の諸君がふるって受験されることを期待している。

日時　十二月二十二日（金）九時～十分～十八時。
場所　千里山　第二学舎
対象　昭和五年三月卒業生宛書（現三年次生）および大学院生ならびに二年次生。
申込期間　十一月二十六日（月）～十二月六日（月）の間に、教職課へ。

なお、英語、論文とも、金額、商社、メーカー等の入社試験問題を目標として出題される。

家裁調査官補には4名

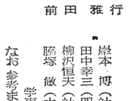
学系によって種目が異る

昭和四十八年度公務員上級職（甲種第二次）試験の合格者発表があり、本学第二次試験の合格者発表があり、本学から小野員人（四十七年商卒）、岡本宏（四十五年経卒）、杉本俊（四十五年法卒）、成瀬勝夫（四十四年文卒）、広瀬孝赤（四十四年商卒）、前田雅行（商学部第二部卒）、田中幸三（四十六年社卒）の六名（ただし、近畿財務局管内の判明者、敬称略）の合格者があった。なお、同局管内の本年度の合格者五九名（受験者は九五六名）についての内訳は、①神戸大（二〇名）、②大阪市大（九名）、③関大（六名）、④京大、関学大（各五名）、⑥同志社大（四名）、⑦阪大、滋賀大（各三名）、⑨立命大（各二名）、⑩その他十一大学（各一名）といった順位であった。

とくに、本学校内の過去五カ年の合格者数は、四十三年度（五名）、四十四年度（四名）、四十五年度（三名）、四十六年度（四名）、四十七年度（三名）であったが、本年度における六名への飛躍は、樋野氏（公認会計士）第二次試験委員への就任、本学出身者四名（ただし、近畿財務局管内の判明者）の第三次試験合格とともに、われわれの喜びである。

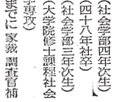
なお、第二次試験は大学在学生についていえば、教養課程終了者に対して、①憲法、②行政法、③民法（債権、親族、相続）、④刑法、⑤経済学、⑥財務諸表、⑦商法（商事、会社）、⑧原価計算、⑨監査論、⑩経済学、⑪経営学、⑫商法（商事、手形および小切手に関する部分を除く）の科目の筆答試験が、毎年七月中旬から行われる。（近畿財務局管内では、本年度は十月十日～十二日の三日間、本学天六学舎で行われた）なお、本学には受験希望者のために公認会計士受験研究会この研究会について、東京、大阪、名古屋、神戸、京都、福岡の六研究会に分かれ、各研究会の研究発表会、三月に開催される。

また、受験のための手引を高柳悦男教授が本学商学論叢、学習指導誌（四十八年四月号、一三～一六ページ）に掲載されている。


前田雅行

弁理士試験は2名合格

長年の受験生活に終止符を打ち、晴れて弁理士試験に合格された、本学出身者の方々に、二次試験の合格者発表があり、本学関係では、大阪弁理士会の田中幸三（四十六年社卒）、柳沢恒夫（社会部三年次生）、臨塚　敏（大学院修士課程社会学専攻）なお、参考までに、家裁調査官補（上級甲種）の専門試験の受験科目は、A種、心理学、B種イ、社会学、B種ロ、社会福祉学、C種・教育学の各学説によって受験科目類がきまっている。


前田光一

公務員（上級職）試験を突破して

基礎を覚えて落着いて

公務員試験は、官員への登用として位置付けられているが、最近、特に公務員問題など、公務員の仕事は、一般的に困難されつつある。

第一次試験は、十月八日に大阪市立大学で行われた。

試験は、午前中に教養試験（60問）が行われた。方法は従来通りの形式である。時間的に制限があるので、判明した箇所から順次記入し、最後にわからない問題を考えるという方法をとった。

前者は専門分野の基礎的なもので三問中二問の選択で、後者は英語、国語、社会、理科、数学の中から、一科目を選択する。

第二次試験は、専門試験と総合試験で、共に筆記式であった。

専門試験は、教養課程の学習内容を解答、これについての意見を尋ねるという問題と日本文の問題で、どちらも合目的な社会問題に関する論述であった。

受験後、特に感じたことは、普通の常識的問題と専門に関する基礎的な知識さえあれば、後者は試験時に落ちないで受験できるかどうかということが、合格の成否を決定するのではないか、と私は思っている。（工学部四年次生）

公務員（上級職）試験について

家裁調査官補（上級甲種）

国家公務員採用試験には、一般的な「国家公務員上級（甲種・乙種）中級試験」と最初から採用する「特別試験」とがある。これら上級職受験志望者に対して、本学で、公務員の受験対策として、行政試験受験研究会、国家公務員上級職試験研究会、国家公務員上級職（心理職）受験研究会などがあり、本学教員も出講して受験科目を二日間で行われる、推定合格ラインが出て本番以上である。

受験対策としては、心理学各分野の本を教師読んだが、調査官補の試験は論文なので、四年生になってからは、思考の方解よりも専門用語の暗記に重点を置き、どれほど暗記しているかなどを試すために、例年に問題答をした。これは、一般教養は利用頻度の問題集を利用して、できるだけ多く問題を解くようにした。

総合試験の対策は特無だったが、新聞を読んでいたのが役立った。

調査官補の試験は社会学部、文学部教育学科の人として、受験科目がそろっていて有利な試験であると思います。来年受ける方々の健闘を祈り致します。

学生部短信

本号から学生部団体の行事予定を掲載して、広く学部諸君や関係者の方々に紹介していきたい。

▼第一部▲　十一月一日（火）～二十五日（日）
ヨット部全日本学生選手権大会、神奈川県葉山葉芦海岸◇十一月二十日（水）～二十七日（火）　機関氏野球部神戸組遠征◇十一月二十三日（金）～二十五日（日）　レスリング部西宮市学生教育センター◇十一月二十五日（日）　ボクシング部阪市立体育館◇十一月二十六日（月）～二十八日（水）　応援フェスティバル第一日◇同日、関東体操部明治大学定期演奏会　大阪府立体育館◇同日（火）～十八日（日）　古典文部省定期演奏会　大阪府立体育館◇十一月二十三日（月）～四日（火）十八日、古典文部省定期演奏会　大阪府立体育館◇十二月五日（水）十八時、邦楽部定期演奏会、大阪府立フェスティバルホール◇同日（水）～十八時、邦楽部定期演奏会、大阪府立青少年センター◇十一月三日（月）～四日（火）十八時、古典文部省定期演奏会　大阪府立体育館◇十二月五日（水）十八時、邦楽部定期演奏会、大阪府立青少年センター◇十一月二十六日（月）～二十八日（水）十八時、落語研究会、大阪府立青少年センター◇十一月二十三日（月）十八時、軽音楽部定期演奏会、大阪府立青少年センター◇十一月二十五日（水）十八時、応援フェスティバル第一日◇同日、関東体操部明治大学定期演奏会、大阪府立体育館◇十二月十日（水）十八時、邦楽部定期演奏会、大阪府立青少年センター◇十一月二十四日（金）十八時、邦楽部定期演奏会、大阪府立青少年センター◇十一月二十四日（金）十八時、邦楽部定期演奏会、大阪府立青少年センター◇十一月二十五日（水）十八時、邦楽部定期演奏会、大阪府立青少年センター◇十一月二十六日（月）～二十八日（水）十八時、邦楽部定期演奏会、大阪府立青少年センター◇十二月十日（水）十八時、邦楽部定期演奏会、大阪府立青少年センター

▼第二部▲　十一月十五日（木）十八時、民謡部関大ヨット部全日本学生選手権大会、神奈川県葉山葉芦海岸◇十一月二十六日（月）十八時、落語研究会、大阪府立青少年センター◇十一月三十日（金）十八時、軽音楽部定期演奏会、大阪府立青少年センター

▼第三部▲　十一月十五日（木）～十一月二十五日（水）　ワンダーフォーゲル部冬期活動　長野県白馬山麓高原◇十一月二十五日（水）～十一月二十七日（金）　山岳部冬山行　北アルプス。

▼第四部▲　十一月十五日（木）十八時、民謡部関大民謡のつどい大阪厚生年金ホール◇十一月二十六日（月）十八時、落語研究会、大阪府立青少年センター◇十一月三日（月）十八時、軽音楽部定期演奏会、大阪府立青少年センター◇十一月二十五日（水）十八時、邦楽部定期演奏会、大阪府立青少年センター

学生部短信

二カ定期演奏会　大阪厚生年金会館中ホール◇十二月一日（木）～二十九日（土）　ワンダーフォーゲル部冬期活動　長野県白馬山麓高原◇十二月二十五日（水）～十八時、応援フェスティバル第一日◇同日、関東体操部明治大学定期演奏会、大阪府立体育館◇十二月十日（水）十八時、邦楽部定期演奏会、大阪府立青少年センター◇十二月十四日（金）十八時、邦楽部定期演奏会、大阪府立青少年センター◇十二月十四日（金）十八時、邦楽部定期演奏会、大阪府立青少年センター◇十二月十五日（水）十八時、邦楽部定期演奏会、大阪府立青少年センター◇十二月十六日（月）～二十八日（水）十八時、邦楽部定期演奏会、大阪府立青少年センター◇十二月十日（水）十八時、邦楽部定期演奏会、大阪府立青少年センター

学生部短信

合格おめでとう

司法試験、弁理士試験、公認会計士第二次試験、国家公務員上級職試験、家庭裁判所調査官補試験等の各種国家試験の合格者発表が先般らい行われ、本学出身者ないし在学生中の合格者がほぼ判明したので、これら合格者の紹介と体験記、受験希望者への若干の手引を特集した。

国家試験

合格者の紹介と体験記

司法試験

このほど昭和四十八年度司法試験の最終合格者が発表された。本学関係者は次の五名であるが、既、今ながら一昨年の十一名、昨年の十六名から大幅に減少している。

小西四郎　三十八年法卒
石村太郎　四十二年法卒
社内隆留　四十三年法卒
松本昌三　四十三年法卒
祝前俊宏　四十五年法卒

司法試験で感じたこと

恐れず自信を持って!!

祝前　俊宏

司法試験、なんら恐れるものではありません。むしろ、自分に負けることを恐れなければなりません。自分は絶対に合格できるのだとの自信を持って前進することが必要です。合格の順序と自信とは異なります。

自信を持つことは悪なことほど、講義を熱心に聞くこと、考えながら、自分に最適の方法で勉強すること、そして先輩友人に出来れることです。これらの条件を満たせば、合格の自信がでてきます。

ここで、本学生の過去五カ年の合格者数は、四十三年度（五名）、四十四年度（四名）、四十五年度（三名）、四十六年度（四名）、四十七年度（三名）であったが、本年度における六名への飛躍は、樋野氏（公認会計士）第二次試験委員への就任、本学出身者四名（ただし、近畿財務局管内の判明者）の第三次試験合格とともに、われわれの喜びである。

なお、第二次試験は大学在学生については、教養課程終了者に対して、①憲法、②行政法、③民法（債権、親族、相続）、④刑法、⑤経済学、⑥財務諸表、⑦商法（商事、会社）、⑧原価計算、⑨監査論、⑩経済学、⑪経営学、⑫商法（商事、手形および小切手に関する部分を除く）の科目の筆答試験が、毎年七月中旬から行われる。（近畿財務局管内では、本年度は十月十日～十二日の三日間、本学天六学舎で行われた）なお、本学には受験希望者のために公認会計士受験研究会この研究会について、東京、大阪、名古屋、神戸、京都、福岡の六研究会に分かれ、各研究会の研究発表会、三月に開催される。

また、受験のための手引を高柳悦男教授が本学商学論叢、学習指導誌（四十八年四月号、一三～一六ページ）に掲載されている。

会計士第二次試験

合格者6人に躍進

昭和四十八年度公認会計士第二次試験の合格者発表があり、本学出身者の方々の六名（ただし、近畿財務局管内の判明者、敬称略）の合格者があった。なお、同局管内の本年度の合格者五九名（受験者は九五六名）についての内訳は、①神戸大（二〇名）、②大阪市大（九名）、③関大（六名）、④京大、関学大（各五名）、⑥同志社大（四名）、⑦阪大、滋賀大（各三名）、⑨立命大（各二名）、⑩その他十一大学（各一名）といった順位であった。

とくに、本学校内の過去五カ年の合格者数は、四十三年度（五名）、四十四年度（四名）、四十五年度（三名）、四十六年度（四名）、四十七年度（三名）であったが、本年度における六名への飛躍は、樋野氏（公認会計士）第二次試験委員への就任、本学出身者四名（ただし、近畿財務局管内の判明者）の第三次試験合格とともに、われわれの喜びである。

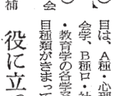
なお、第二次試験は大学在学生については、教養課程終了者に対して、①憲法、②行政法、③民法（債権、親族、相続）、④刑法、⑤経済学、⑥財務諸表、⑦商法（商事、会社）、⑧原価計算、⑨監査論、⑩経済学、⑪経営学、⑫商法（商事、手形および小切手に関する部分を除く）の科目の筆答試験が、毎年七月中旬から行われる。（近畿財務局管内では、本年度は十月十日～十二日の三日間、本学天六学舎で行われた）なお、本学には受験希望者のために公認会計士受験研究会この研究会について、東京、大阪、名古屋、神戸、京都、福岡の六研究会に分かれ、各研究会の研究発表会、三月に開催される。

また、受験のための手引を高柳悦男教授が本学商学論叢、学習指導誌（四十八年四月号、一三～一六ページ）に掲載されている。

弁理士試験

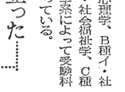
は2名合格

長年の受験生活に終止符を打ち、晴れて弁理士試験に合格された、本学出身者の方々に、二次試験の合格者発表があり、本学関係では、大阪弁理士会の田中幸三（四十六年社卒）、柳沢恒夫（社会部三年次生）、臨塚　敏（大学院修士課程社会学専攻）なお、参考までに、家裁調査官補（上級甲種）の専門試験の受験科目は、A種、心理学、B種イ、社会学、B種ロ、社会福祉学、C種・教育学の各学説によって受験科目類がきまっている。


前田雅行

短期決戦で

有意義に


島崎泰甫

試験は三回の専攻科目である必理学を活用で考え最後につきたいと思い、三年生の会用に心理学受験研究会に入会した。そして家庭裁判所調査官補試験のことを知り、また去年二の試験合格の広田ゼミの先輩の話や諸先生方指導の研究会での勉強が大変役に立った。

試験は、午前中に教養試験（60問）が行われた。方法は従来通りの形式であった。時間的に制限があるので、判明した箇所から順次記入し、最後にわからない問題を考えるという方法をとった。

前者は専門分野の基礎的なもので三問中二問の選択で、後者は英語、国語、社会、理科、数学の中から、一科目を選択する。

第二次試験は、専門試験と総合試験で、共に筆記式であった。

専門試験は、教養課程の学習内容を解答、これについての意見を尋ねるという問題と日本文の問題で、どちらも合目的な社会問題に関する論述であった。

受験後、特に感じたことは、普通の常識的問題と専門に関する基礎的な知識さえあれば、後者は試験時に落ちないで受験できるかどうかということが、合格の成否を決定するのではないか、と私は思っている。（工学部四年次生）

役に立った……

先生や先輩

……がたの指導

岸本博

（社会学部、C種（教育学系）に合格された、本学出身者の方々に、二次試験の合格者発表があり、本学関係では、大阪厚生年金会館中ホール◇十二月一日（木）～二十九日（土）　ワンダーフォーゲル部冬期活動　長野県白馬山麓高原◇十二月二十五日（水）～十八時、応援フェスティバル第一日◇同日、関東体操部明治大学定期演奏会、大阪府立体育館◇十二月十日（水）十八時、邦楽部定期演奏会、大阪府立青少年センター◇十二月十四日（金）十八時、邦楽部定期演奏会、大阪府立青少年センター◇十二月十四日（金）十八時、邦楽部定期演奏会、大阪府立青少年センター◇十二月十五日（水）十八時、邦楽部定期演奏会、大阪府立青少年センター◇十二月十六日（月）～二十八日（水）十八時、邦楽部定期演奏会、大阪府立青少年センター◇十二月十日（水）十八時、邦楽部定期演奏会、大阪府立青少年センター

学生部短信

キャンパス情報

7年ぶりに中国を見て

増田　渉

私たち「日中文化交流協会」を代表する一行は、中国の「対外人民友好協会」から招待されて十月一日の国慶節祝賀に参加し、また九月二十八日に催された日中国交回復一周年記念祝賀に参加した。今度の訪中は右の祝賀に列席するために招待されたわけだが、しかしまた二週間滞在のうち、請所を見学することができたし、旧知新知の人たちと歓談することもできた。

◇……◇

一九六六年に私は中国科学院（院長は郭沫若氏）の招待で、解放後の中国をはじめて訪ね、一カ月余り、各地を回わって見学した。そのときは「文化大革命」中で、紅衛兵の腕章をつけた大学生や中学生が、都市にも山野（長征のため）にも満ちあふれていた。私たちは何度か彼等と座談会をして、彼等の気焔に圧倒される思いであった。七年ぶりに今度来てみると、大学生の紅衛兵はもういなくて、高級中学生の紅衛兵を見るだけであった。いまは大学生は、高級中学（高等学校）を卒業した後、二年間は各職場で労働経験をした上で、選ばれて入学するという制度になったというから、特に大学生の紅衛兵は必要としないのかも知れない。

この前きた時は、主に革命の旧跡を見学した。「五・三〇事件」の起こった上海の紡織工場、終戦直後の国・共会談で延安から南京に来ていた周恩来などの宿舎跡、一九二七年、国・共両軍が衝突した「南昌起義」の共産軍司令部跡、初期共産軍の根拠地であった江西省井岡山とその周辺などを見学した。撫順の炭鉱や鞍山の製鉄所、そのほか各地の人民公社なども見学したが、私はとくに現代革命史の旧跡に強い印象をうけた。

◇……◇

今度の訪中では、考古学や美術史の専門家がいた関係で、この方面の旧跡や遺物を見学することが多かったが、これもまた新鮮な印象で、有益であった。

最も感動したのは、北京西南の周口店へ行ったときである。石灰岩の丘陵地帯の一角に、北京原人の住んだ洞窟、さらにその上方の山頂洞人の住んだ洞窟は、何万年前（？）の遥い太古をしのばせて、あらためて周囲の風景を見わたしたり、洞窟のなかの石ころや土砂を、わが手でさわってみたり　茂って、美しい景観であった。

◇……◇

北京大学は、七年前にも訪ねたが、今度も行った。七年前には紅衛兵の腕章をつけた学生が構内に群がって、あわただしい空気であったが、今度はそんな学生は見かけず、静かなものだ。その代わり、ちょっと奇異に思ったのは（日本では見ないからだが）軍服をきた解放軍の学生をそうとう見かけたことである。大学図書館も見学したが、閲覧室には軍服姿の学生がかなり勉強していた。

七年前に来たときは、応接室でわれわれに大学の現状を説明してくれたのは学生で、同大学の革命委員会の副主任であった。今度はやはり革命委員会の副主任ということであったが、周培源教授であった。周氏は「文化大革命」前は同大学の副校長であったと聞いた。

北京大学では、名前だけは前から知っている二人の教授にあった。一人はロシア語の曹靖華氏、もう一人は現代中国文学史の王瑤氏である。曹氏はかって魯迅と親しく、魯迅が主宰した「未名社」の同人で、ロシア・ソビエト文学者として知られ、曹氏の訳したセラフイモウイッチの『鉄流』を私も贈ってもらったことがある。同氏は魯迅に親近したという共通点から、空港に出迎えてくれ、また帰るときは空港に送ってくれたし、宴席でも二度あった。落ちついた好々爺然とした人で七十六歳だといっていた。

王瑤氏は一九五一年に、解放後はじめて、かなり具体的にまとめられた現代中国文学史（二冊）を書いた人で日本にも訳されたし、中国文学の研究者にはよく知られた人である。ただ同氏の現代文学史は前に批判されて、絶版になっているので、あの本を修訂してまた出版する考えはないかと聞いたら、いま書きなおしているところだといった。柔らかい肌ざわりの人であった。私は曹氏と王氏と逢れだって、静かな大学の構内を歩いた。

（文学部教授）

北京大学の構内で（左から曹靖華教授、王瑤教授、対外人民友好協会員韓氏、筆者右端）

静かな大学の構内
〝親切だった曹、王氏ら
旧知新知の人たちと歓談〟

ヨーロッパの中の日本人学生

随想

友松芳郎

謹め甘い気分の留学
苦学してもファイト満々

ヨーロッパの大学で勉強している日本青年はなかなか多い。私がマルセイユの日本領事館で紹介してもらったY君も、その一人である。かれは、早稲田大学を卒業直後、エイクス大学の文学部で学んでいる。そこはマルセイユから北へ汽車で約一時間のところ。古代原子論を近代に復活させたカトリック神父ピエール・ガッサンディの郷土である。私が訪れたY君のアパートは、産後間もない奥さんと赤ん坊がねている狭い部屋で、腰をかけるのがやっとであったが、Y君は快く初対面の私を迎えてくれた。ガッサンディに精しい教授の所在を調べてもらったり、大学の図書館へ案内してもらったりして、大へん世話になった。かれは夏休みにはパリで通訳をして稼ぐのだといっている。

それから一週間後パリへ着いた日、私は中央郵便局へ行くべく、いつものように街角で地図と磁石をもって、行き道を調べていると、そこへ話しかけてきたのがM君である。かれは私を郵便局へ案内し、そこでの私の用件を親切に代行してくれた。そのあとで、かれは私のパリでの案内役をアルバイトとしてやらせてほしいという。この君もY君と同じように、東京教育大を卒業直後ソルボンヌでフランス語を勉強しているというので、少しでもその生活費の足しになるのなら、と思い二、三日カルチェラタンのガイドを頼むことにした。聞けば、かれもすでに二児の父親。月々の家計は苦しいようで、子供を託児所に預けて、奥さんも稼ぎにでるそうである。

またアテネ大学にいるK君は、日本での大学入試に失敗した契機に蹶起し、ある奨学金を獲得して日本をとびだしてきたという逞ましい青年。チューリッヒ大学の博士課程にいるH君は、あちらで日本語学校を開くのだと張りきっている。

それぞれ事情は異なるが、いずれもファイトある有為の青年たちであった。しかし、こんな人ばかりではない。実は私がパリで知りあった大谷大学のY教授は、デカルトの研究にパリ大学へきている人であったが、氏の目くに、フランスの大学では、日本の大学とちがい筆記試験だけでなく、口答試問や討論も出来なければならないから、ただ漫然と出席しているだけでは卒業はおぼつかない。しかし在籍していると、安い食券がもらえるので精だけおいて、ゴロゴロしている日本人学生が多く、かれらの将来が心配だとのこと。

とにかくバカロレアの資格があれば、どこの大学にでも入学できる。しかも日本と同じく戦後進学者が急増して大学は学生で溢れている。しかし講義のレベルは、戦前同様専門的に高度なもので、多くの学生はついていけない。それでも、レベルを落さないという教授側の意向は強く、そのため落第生は増える一方である。こうしたことから学生たちの反抗が高まり、これが大学紛争の原因の一つになっている。ドイツでも事情は同じで、このような大学教育のあり方が経済成長の障害となっているといわれていた。

以上は、私がたまたま見聞したかぎりのことであって、実態を十分尽したものではない。とまれ、若い学生の留学は、ますます盛んになるだろう。これは非常に望ましいことである。ただ安易に甘い気持ちで出かけることだけは戒めたいと思うのである。

（社会学部教授）

中国に見る高松塚の原像

飛鳥と隋・唐との関連
壁画に共通性が歴然
北京の宿舎にも同じ文様

網干善教

今回、日中国交正常化一周年記念祝典と第二十四回国慶節に招請を受けた日本中国文化交流協会代表団の一員として訪中し、この西安の町を訪れた。

西安市の訪問には大きな期待があった。それは飛鳥京や高松塚古墳との関連においてである。

飛鳥で育ち、飛鳥京跡のことを調べていると、絶えず関係してくるのは、飛鳥と隋・唐の問題である。

文献によると、いわゆる飛鳥の地に都が遷営されたのは推古天皇の豊浦宮にはじまる。その後、小墾田宮に移られ、舒明天皇は岡本宮、皇極・斉明天皇は飛鳥板蓋宮、後飛鳥岡本宮、天武天皇は飛鳥浄御原宮、続く持統天皇は藤原宮へ、文武天皇のあと元明天皇の和同三年平城遷都までは飛鳥地方が政治の中心地であった。これは西暦五九三年から七一〇年までの期間であるが、中国では隋と唐の時代である。すなわち隋文帝開皇十三年から煬帝を経て、唐高宗から中宗という時代であった。小野妹子や犬上御田鍬など初期の遣隋・唐使が派遣された時代である。これらの使者は飛鳥の都より出発し、飛鳥に帰朝したであろう。

そうなれば、飛鳥に隋・唐の匂いがどれほどのこっているかということであるが、これは今後の発掘や研究の成果にまたなければならない。そうしたことから、とにかく隋・唐の都長安は、是非訪れてみたいところであった。

◇……◇

この飛鳥京跡の調査に関連して、昨年高松塚古墳を発掘調査した。この調査を遂行したのは本学の学生諸君であったことはいうまでもない。そして、古墳に日月、星辰、四神、群像が描かれていたことが伝えられた。これらの壁画の模写の一部は、先般東京、京都で開催された「中国出土文物展」に展示され、大きな反響を呼んだ。

永泰公主墓、章懐（しょうかい）・懿徳（いとく）両太子墓は、西安市の西郊陝西省乾県にある。乾陵（けんりょう）の陪塚である。

乾陵は、唐高宗と則天武后の陵であるが、その周囲に十七基の陪塚が築造されている。

章懐太子李賢は唐高宗の皇子、懿徳太子重潤は唐高宗の孫で中宗の第一皇子、永泰公主は懿徳太子の妹で、中宗の第七皇女にあたる。共に則天武后のために悲劇的な最後を遂げたと伝えられる。後に中宗は皇子たちを乾陵の近くに陪葬したとあり、それは神龍二年（七〇六年）であった。

高松塚古墳の築造年代は、未だ明確ではないが、およそ西暦七百年前後とされる。そうなれば、これら乾陵陪塚に眠む諸皇子、皇女の築墓と同じ時期になり、壁画の共通性も考えられる。

永泰公主墓の内部を見学した。長さ約八十七米の地下宮殿、壁面に描かれた約四十幅の荘厳な壁画は圧巻である。高松塚古墳の壁画よりはるかに大きい。

「故大唐永泰公主墓誌」と刻られた一米四方程の墓誌石や天井に、複合パルメッ花文の文様がみられる。高松塚古墳出土の棺の透金具の文様に見られる図形である。

◇……◇

陝西省博物館、周漢から隋・唐の文物を保存、陳列する展覧場や章懐・懿徳太子墓の壁画模写を今年から展示した。

有名な碑林もこの博物館内にある。多くの著名な碑の散逸を憂いてここに集められている。大室の展示物に約千基あるといわれる。このなかで、ふと目にとまったのは、碑石の側面に高松塚古墳の透金具の文様と同じものがあるではないか。

じっと碑を見る。「大唐三蔵聖教之碑」とあり「龍朔三年」の紀年、「積遂良書」とある。龍朔三年は唐高宗の年号であり、日本では中大兄皇子の百済救援軍の白村江敗戦の西暦六六三年である。

かつて新羅の都、慶州の王城臨海殿跡で出土した塼の文様にあり、日本では高松塚古墳をはじめ東大寺の不空羂索観音像にもみられた。すなわち唐代の象徴的な文様として使用され東アジアの文化圏に伝わった文様の一種である。そこに文化の伝播の足跡が見られる。

北京の宿舎「北京飯店」のロビーに飾られたシャンデリアの座の文様に、やはり高松塚古墳の文様を見つけた。

今もこの文様は生きている。今から千数百年前唐文化の及ぶところに拡がり、そして現在にもなお使用されている。

高松塚古墳の原像はここにもあった。

（文学部教授）

永泰公主墓の壁画

渭水の右岸、茫漠たる関中平原に、四方を高い博築の城壁で囲んだ西安市は、隋・唐の都、長安である。

▼編集後記▲

十月一日付で、新広報委員会が発足した。委員は菱田政宏、高橋三知雄、重本利一、鯵坂真、木村雄一郎、加勢田博、酒井文雄、中辻卯一、西山美嶽子、井上宏、大岩正労（委員長）、中祠明和、伊藤郁男、廣田司朗、今井康雄である。委員十五名中の九名は新任で、すでに委員会を四回、小委員会を二回開催している。新任の一人として、歴代の広報委員諸氏がどんなにか御尽力されたか、何事であれ、その局に当ってみないと、わからないものだと痛感させられている。みなさまのお力添えをお願いして、筆をおく。